

# 65歳以上の希望された利用者さんへ ワクチン接種が終わりました



② 医師の問診



① 保健師による本人確認



③ ワクチン接種

※写真は1回目の接種です



# 里だより

No.354

令和3年7月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



七月号もくじ



施設長より……………1

サビ管より……………3

主任より……………4

職員より・調理場より……………5

サービス向上委員会より・  
研修報告・行事予定……………6

ワクチン接種報告・  
ありがとうございました……………7

編集後記……………7

決算報告(計算書類)……………8



## 施設長より

### 「施設長室の訪問者」

新型コロナウイルスワクチン接種の一般接種の受付も始まろうとしています。市町村によって差はありますが、基礎疾患をお持ちの方の接種券の申請が始まっていますので、ホームページなどで確認いただけますようお願い申し上げます。

先月号で六十五歳以上の入所利用者さんのワクチン接種についてお伝えしましたが、無事に終了しました。六十四歳以下の入所者の接種についても予定が立ちそうですので、詳しい日程等、決まりましたらご連絡いたします。

さて、施設長室には、いろいろな方が出入りされます。職員は当然のことながら、来訪されたご家族や業者さん等です。ただ、意外と支援員が知らないのは、毎日のように、もしくは頻繁に来られる利用者さんがいらつしやるとのこと。それは何故かというと、早朝か日中の就業後だったりするからです。その為、外部の方と間接的に接することになりますので、こまめに消毒を行っています。

今回は、その利用者さん方を、ご紹介いたします。

① Fさんは、職員出勤前に、ドアをノックして入って来られ、無言で笑顔のラジオ体操と「ドライブ行きたい。」「お寿司食べたい」のジェスチャー。たまに早く来た職員さんが、Fさんが施設長室にいるのを見てひとこと。「あら、珍しい」いえいえ、いつものことです。

② 理事長・業務執行理事が出勤されるのを心待ちにされ、隠れて「わっ！」と驚かせるのが楽しみのTさん。そのあとは、理事長の机の横にはりつかれ、じーっと理事長の事務作業を恋する乙女のように眺められています。

③ グループホーム利用のKさん。生活介護利用前と後に顔を出されて「おはよー」と明るくご挨拶。帰りの送迎を待つ間、「昨夜は寝とらん」と言われた日には、応接ソファに座って爆睡zzz。

④ 目の不自由なGさんは、主に夕方ご来訪。担当職員や班職員の翌日の勤務を尋ねられます。やはり、いつもそばにいてくれる人が気になるようです。

⑤ 毎日、その日の東京・大阪などのコロナ感染者の数を紙にメモしお伝えして下さるMさん。感染者の数は建前で、いつ外出・面会が自由にできるのかが気になられるようです。

⑥ 在宅からご利用のHさん。延長支援を利用される際に、室内に入らずドア付近から話しかけてこられますが、目的は話しよりも、窓越しに見える施設入り口の坂。ここは、お迎えに来られるお母さんが一番早く分かる場所です。

⑦ パソコンのマウスやマウスパッドの位置を几帳面に整えて、小さなゴミを拾っては捨ててくれるSさん。これが始まると、何かといろいろなものが気になり始めるバロメーターだったりします。

⑧ ドア越しに、今週、来週、先々の日程を確認されるNさん。私からの情報収集だけではなく、職員から集めた情報の伝達役だったりされます。「明日、○○さんは、□□するてったい😊」。情報管理、気をつけねば（笑）

⑨ 「外の草が伸び始めている。草取りをしなきゃならん。家でも暇があると草取りをしていた。すぐ増えるもんなあ〜。」遠回しに「草刈りは、いつするとな？伸び放題は気になるんだぞ！」と教えてくれるHさん。

⑩ H学園の四十周年記念品の日めくりカレンダーをめくった後、ホワイトボードに配置されている明日の職員を確認されるSさん。月末には館内の全カレンダーを翌月に変えて、一足早く月が替わることを教えてくれます。

これらは、私の知っている利用者さんの一面。支援現場から離れているので、私の知らない利用者さんの一面をより沢山知っている職員がうらやましいと思ったりしています。それぞれの職員が知っている利用者さんの一面を出し合うと、もつと具体的に、立体的な利用者さんが見えてきて、そこには、利用者さんの強み（ストレングス）も浮き彫りになってきます。そうすると今までとは違ったアプローチ方法のアイデアも出てきます。人を知るには時間がかかります。焦らずゆっくり、じっくりと人と向き合ってくれる職員が増えることが、利用者さんへの安心につながるものと思っています。

ほぼ、開けっ放しの施設長室ドア。ご家族におかれましても、コロナが落ち着いたら、お気軽にお立ち寄りください。

施設長 松永 一博



**あふれる笑顔！**  
そのワケは・・・  
毎月21日は  
牛乳パック作業と  
5班作業の給料日  
です。  
頑張った甲斐が  
ありました(\*'▽')



## サビ管より

個人的な話となりますが、実家がもともと農家ということもあり、休みの日を利用して、少しでも農業を手伝っています。

米作りを中心としていますので、苗床を作り、種をまき、十分に水を与えながら苗を育て、つい先日、田植えを終え、大掛かりな作業に一区切りがついたところです。

昨年は、結果的には見込みに応じた収穫が出来ましたが、苗を作る過程において、気候にも影響されたようで苗の線が細く、植え付けにおいて心配な面がありました。その反省を踏まえ、今年には苗床の場所を移し、温度や天候に対応できるようにシートを見直してきた結果、去年よりは線が太く、丈夫な（に見える？）苗が出来たようです。

基本的には例年同じ作業の繰り返しとなりますが、実の入った米を少しでも多く収穫したいと思う目標に向け、前年の良し悪しをもとに工夫し、大凡の予定を立てながら気候に応じてタイミングを計り植え付け、田んぼに張る水の加減の調整や除草作業を繰り返しながら、育ち具合をチェックしつつ、実施していく作業は、施設の事業計画の運用と重なるように感じます。

私が入職したころ（二十三年前）、入所されているご利用者もまだまだお元気で、園芸班に所属し、甘藷（サツマイモ）作りを中心に一年を通して園外で作業をしていました。今こそ、ようやく実家の手伝いをするようになりましたが、当時は全くと言ってよいほど農業に対する関心はなく、これから仕事の一部

として携わることに大きな不安も感じていました。

農業の年間を通して経験する作業（種まき・収穫等）は、年に一回ということが多く、何もわからないまま、一年、二年と経過していたことを覚えていきます。あわせて、ひとつひとつの作業で新たな発見があり、知識として理解していくことで、日々新鮮な気持ちで過ごしていたことも確かでした。

私の場合、仕事を通して得た経験が実家での手伝いや今の過ごし方にも活かされています。当時は無関心だった農作業も、今となれば自身の気分転換になっています。四季を通して変化する風景に目を向け、自然の中にある力強さや柔らかさを感じながら、気持ちを整理することが何気なく出来ているのかもしれない。

支援課長 今田 有哉

## 新しい車が納車されました(R3.6.21)

**8人乗の車輛が走行距離 10 万kmを超え、不具合も見られるようになってきたため、新しい車と入れ替えました。**

**通常は8人乗りですが、3列目のシートを上げると、トランクから車椅子が1台乗車できる仕様となっています。**



## 主任より

### マスク



新型コロナウイルスが流行し、生活に必須となったのが「マスク」。「マスク着用」を依頼する貼り紙を見る機会も多くなりました。マスクをしていないと不安に感じ、周りからどう思われているのか考えてしまう状況下。昨年は品薄になる時期もありましたが、今は種類も豊富になり、様々な場所で販売されるようになりました。

私には三人の子供がいます。一番下はまだ五カ月なのでマスクが出来ませんが、五歳の娘と三歳の息子には外出する際、なるべくマスクを着用させています。五歳の娘はマスクに対する理解がありますが、三歳の息子は新型コロナウイルスが流行し始めた昨年は二歳であり、マスクに抵抗がありました。小さい子供にとっては、息苦しさや暑さが苦痛だったと思います。その為、娘がマスクを着用している姿を見せたり、キャラクターの入った手作りのマスクを準備し、徐々に慣れさせ今では抵抗なく付けてくれるようになりました。

利用者さんも、通院の際はマスクを着用するようにしています。しかし、普段からマスクをつける機会が少ない事や、マスクに対する理解が難しい利用者さんにとっては、マスクに慣れておらず受け入れも難しくなります。このような状況におかれて、普段からどのようにしておけばよかったのか、どうしたら受け入れてもらえるのか考えます。新型コロナウイルスも終息の目的が立っておらず、利用者さんも、外出等の制限がかり

## 施設PR委員会 今月の1枚！

誕生会での1コマ。92歳を迎えたつくしの里

の最長寿、Kさんの1枚に決定！！



不自由な思いをされていると思います。どのような環境でも柔軟に対応できるように、日頃の支援や生活をどうしていけば良いのか改めて考える機会となりました。

主任支援員 小嶋 健仁

## 職員より



ここ最近、運動不足を感じ、健康の為に夜のウォーキングを始めました。勤務の関係上、毎日とは出来ず、続くのだろうかと不安に思いましたので、息子を誘って歩く事にしました。学校の事、自分の仕事についてなど、他愛もない会話をする事で、何とか続ける事が出来ています。一人では続かない事も、誰かと一緒だと継続するきっかけになると感じました。

生活介護班2班の利用者さんも、活動で強歩に取り組まれる事があります。想いを口にする事が出来ない方は、もしかしたら「歩く気分ではないなあ…」等、感じていらっしゃるかもしれません。しかし、自分が継続する事が出来ているように、利用者さんとも普段の事、見えている景色、今後控えている行事の話など、他愛もない会話をする事で、少しでも楽しいと感じてもらい、継続する力添えになればと、最近の自分の体験を通して感じました。利用者さんと自分の為に一緒に楽しく、これからも運動を頑張っていきたいと思っています。

(支援員 上村)

つくしの里に入職し、今月で丸5年になります。5年間、同じ班に所属し、利用者の方の支援をさせて頂いていますが、まだまだ新しい発見があります。昨年まで2年間担当させて頂いたWさんとの出来事を紹介します。とある日に私が下着替え後の衣類を整理していると、Wさんが私の所に来られ整理済みの衣類が入った籠をジッと眺めておられました。整理が全て完了した時点で洗濯場まで籠を運ぶことをお願いした所、サッと持ち上げ運んでくれました。最初は「偶然かな」としか考えませんでした。その後、何度か手伝いをお願いする事が有り、毎回、嫌がらずに洗濯場まで籠を運んでくださいました。「〇〇さんは□□が出来ない」と安易に決めつけてはいけなないと、利用者支援にとって1番大事な事を改めて実感しました。これからも利用者の方に快適な生活を送って頂けるよう、日々精進していきたいと思えます。

(支援員 井)

## 調理場より

コロナの収束はまだ見えませんが、つくしの里の利用者さんは毎日元気に過ごされています。感染予防のため、6月の給食会議では手洗いとうがいの練習をしました。「ガラガラうがい」が難しい利用者さんもいらっしゃいましたが、みなさん真剣に取り組まれていました。

また、第1回なぞなぞクイズ大会を実施しました。利用者さんに一問ずつ出題しましたが、みなさん大正解でした。「ご飯をたくさん食べると出てくるパイはなんでしょう?」、「切ると穴だらけの野菜は何でしょう?」すぐに答えられてしまいました。盛り上がりましたよ。次回は、もう少し考えていただけるような難易度を上げた問題を準備したいと思います。

(管理栄養士 奈須)



## サービス向上委員会より



### ■ 虐待防止【支援係長 竹下・支援員 村上か・益田】

私たち虐待防止委員会は、利用者さんへの虐待行為があっていないかどうか、虐待を未然に防ぐ対応・対策、自分たちの支援のあり方など、利用者さんが不快に感じていないかを考え、活動する委員会です。

利用者さんへ日々の支援で不満に思う事を聞こうとしても、言葉が分かりにくい人、自分では話す事が出来ない人など様々おられます。どの様に聞けば利用者さんからの意見が詳しく聞けるかも考えながら、公では話せない人もいる為、担当と共にゆっくりと時間をとり、個別で聞き取っていきたいと考えています。

昨年、利用者さんと職員の間で3つの約束を定めました。利用者さんへの対応の仕方についての約束事です。職員全員がこの約束を忘れずに実行できるように、皆さんの快適な生活を守っていききたいと思います。  
(支援員 村上)

#### ～3つの約束～

- 私達は皆さんが快適に過ごせる様、環境を整え一人ひとりのプライバシーを守ります。
- 私達は皆さんの気持ちや希望を大切にし、一人ひとりに合った支援を行います。
- 私達は皆さんと笑顔で優しく接し、わかりやすい表現で言葉を掛け合います。

## 研修報告

※ 5/21 (金)～6/20 (日) に受講した研修について報告します。

### ◆ 強度行動障がい支援者養成研修【6月3日(木)～4日(金) 熊本県総合福祉センター】

強度行動障害を持つ方に世界がどのように見えていて、沢山の事を考えたり、悩んだりしている事を知りました。そこで、今まで利用者さんの行動をなんとなくでしか理解できていなかったと気付きました。例えば、利用者さんの気持ちを理解する上でもアプローチする上でも、先輩職員に言われるままに受け取り、アプローチを試みることで精一杯になり、これ以上は難しいと感じたらすぐに理解を諦めてしまっていたかもしれません。

言われたことを漫然とこなすのではなく、このアプローチが適切なのか、上手いかわないのは何故なのか等、理解・模索しながら、これからの支援に繋げていきたいと思えます。

(支援員 池崎)

## 行事予定



### ☆ バイキング昼食会 (つくしの里)

期 日：7月6日 (火)

内 容：夏らしいメニューが満載です！

お腹いっぱい楽しみましょう(⊂⊃)。(◡‿◡)。

【メニュー】ミートローフ・チーズタッカルビ・唐揚げ・フライドポテト・ビシソワーズ・カツオのたたき・夏野菜サラダ・ごはん(白米・十穀米)・クロワッサン・ドリンクバー・デザート(かき氷・白玉あんこ・アイスクリーム・ケーキ・フルーツ等…)



## 新型コロナウイルス対策についてのご報告

### ★ ワクチン接種【1回目：5月28日（金）・2回目：6月18日（金）つくしの里】

65歳以上の利用者さんへの新型コロナウイルスワクチン予防接種が2回とも無事に終了しました。予診票のサインなど短い期間だったにもかかわらず、ご家族の方にはご協力いただきありがとうございました。接種までの間、体調は大丈夫かと毎日ハラハラしていましたが、23名の利用者全員2回とも終わってとりあえず一安心です。

接種したからといって感染しないわけではないので、今後も基本的な感染予防対策に努めていきたいと思います。64歳以下の利用者さんの予防接種は7月下旬予定になっています。

(看護師 松村)

ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和三年五月二十一日

令和三年六月二十日です

【ショートステイ・

日中一時支援事業のご利用】

※今月もショートステイ・日中一時支援等の受け入れは中止させていただきました。

【寄付・寄贈】

- ・今坂 桂子 様 ・池崎 ゆり子 様
- ・岩根 治美 様 ・江頭 多津子 様
- ・後藤 弘子 様 ・竹山 洋子 様
- ・藤野 幸子 様 ・藤本 睦美 様
- ・光永 順子 様 ・吉田 暢夫 様
- ・渡辺 昭子 様 ・平田 靖人 様
- ・於久 八千代 様
- ・つくしの里保護者会 様
- ・つくしの里職員互助会 様

【ボランティア】

※現在、受け入れを中止しています。

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。

編集後記

日本中で新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいます。

当事業所においても、六十四歳以下の入所利用者さんと職員のワクチン接種の目途がつかまりました。接種を終えた高齢の利用者さんたちにも、今のところ副反応もなくホッとしています。

この「里だより」も一年以上にわたってコロナの話題に触れてきました。一番の心配事で大事な情報ですが、誌面いっぱい生き生きとした利用者さんの様子をお伝え出来る日が早くきてほしいものです。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。



## 法人単位貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

	資 産 の 部			負 債 の 部			増 減
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減	
流動資産	245,345,078	223,890,989	21,484,089	流動負債	44,171,968	44,171,968	△163,826
現金預金	177,674,667	151,036,058	26,638,609	事業未払金	12,932,088	13,087,932	△155,834
事業未収金	67,009,434	71,773,087	△4,763,653	1年以内返済予定リース債務	253,800	609,120	△355,320
立替金		50,000	△50,000	預り金	7,717	7,747	△30
前払費用	660,977	1,001,844	△340,867	職員預り金	7,001,527	6,595,510	406,017
固定資産	872,146,030	896,720,356	△14,574,326	仮受金	38,659	38,659	△38,659
基本財産	471,342,476	481,474,394	△10,131,918	賞与引当金	23,363,000	23,483,000	△120,000
土地	73,133,245	73,133,245		役員退職慰労引当金	450,000	350,000	100,000
建物	398,209,231	408,341,149	△10,131,918	固定負債	22,726,962	23,575,022	△848,060
その他の固定資産	400,803,554	405,245,962	△4,442,408	リース債務		253,800	△253,800
建物	1,867,015	2,136,973	△269,958	退職給付引当金	22,726,962	23,321,222	△594,260
構築物	29,562,885	30,676,537	△1,113,652	負債の部合計	66,735,104	67,746,990	△1,011,886
機械及び装置	3,121,825	3,614,854	△493,029	純資産の部			
車輦運搬具	5,284,257	8,811,243	△3,526,986	基本金	212,872,499	212,872,499	
器具及び備品	10,170,507	7,879,677	2,290,830	国庫補助金等特別積立金	110,749,572	113,727,107	△2,977,535
有形リース資産	253,800	882,920	△609,120	その他の積立金	337,313,832	327,313,832	
権利	502,471	628,704	△126,233	移行時特別積立金	35,559,832	35,559,832	
退職給付引当資産	22,726,962	23,321,222	△594,260	人件費積立金	73,500,000	73,500,000	
移行時特別積立資産	35,559,832	35,559,832		修繕費積立金	68,700,000	68,700,000	
人件費積立資産	73,500,000	73,500,000		備品等購入積立金	16,200,000	16,200,000	
修繕費積立資産	68,700,000	68,700,000		建設積立金	133,354,000	133,354,000	
備品等購入積立資産	16,200,000	16,200,000		次期繰越活動増減差額	399,829,101	388,920,917	10,899,184
建設積立資産	133,354,000	133,354,000		(うち当期活動増減差額)	10,899,184	28,541,101	△17,641,917
資産の部合計	1,117,491,108	1,110,581,345	6,999,763	純資産の部合計	1,050,756,004	1,042,834,355	7,921,649
				負債及び純資産の部合計	1,117,491,108	1,110,581,345	6,909,763

## 法人単位資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収入	障害福祉サービス等事業収入	428,052,200	429,547,784	△1,495,584		
	経常経費寄附金収入	2,815,000	2,675,080	139,920		
	受取利息配当金収入	41,000	40,730	270		
	その他の収入	1,800,400	1,812,450	△12,050		
	事業活動収入計 (1)	432,708,600	434,076,044	△1,367,444		
事業活動による支出	人件費支出	305,076,000	302,703,866	2,372,134		
	事業費支出	58,025,000	53,786,546	4,238,454		
	事務費支出	47,480,000	45,907,507	1,572,493		
	その他の支出	1,190,000	1,110,192	79,808		
	事業活動支出計 (2)	411,771,000	403,508,111	8,262,889		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		20,937,600	30,567,933	△9,630,333		
施設整備等に要する収入	施設整備等補助金収入	2,431,000	2,431,000			
	施設整備等収入計 (4)	2,431,000	2,431,000			
	施設整備等に要する支出	固定資産取得支出	11,715,000	11,711,478	3,522	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	610,000	609,120	880	
	施設整備等支出計 (5)		12,325,000	12,320,598	4,402	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△9,894,000	△9,889,598	△4,402		
その他の活動収入	積立資産取崩収入	3,283,000	3,083,100	199,900		
	サービス区分間繰入金収入	9,030,000		9,030,000		
	その他の活動収入計(7)		12,313,000	3,083,100	9,229,900	
	その他の活動支出	積立資産支出	2,600,000	2,488,840	111,160	
		サービス区分間繰入金支出	9,030,000		9,030,000	
その他の活動支出計(8)		11,630,000	2,488,840	9,141,160		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		683,000	594,260	88,740		
予備費支出 (10)		3,450,000	-	3,450,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		8,276,600	21,272,595	△12,995,995		
前期末支払資金残高(12)		204,131,141	204,131,141			
当期末支払資金残高(11)+(12)		212,407,741	225,403,736	△12,995,995		

法人単位事業活動計算書

(自)令和 2年 4月 1日 (至)令和 3年 3月31日

(単位:円)

勘 定 科 目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減(A)-(B)
サ ー ビ ス 活 動 部	収 益			
	障害福祉サービス等事業収益	429,547,784	448,141,421	△18,593,637
	経常経費寄附金収益	2,675,080	5,381,060	△2,705,980
	サービス活動収益計 (1)	432,222,864	453,522,481	△21,299,617
	費 用			
	人件費	302,089,606	307,242,214	△5,152,608
	事業費	53,786,546	51,560,676	2,225,870
	事務費	45,907,507	48,842,927	△2,935,420
	減価償却費	25,691,537	23,598,281	2,093,256
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△5,408,535	△5,691,526	282,991
サービス活動費用計 (2)	422,066,661	425,552,572	△3,485,911	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	10,156,203	27,969,909	△17,813,706	
サ ー ビ ス 活 動	収 益			
	受取利息配当金収益	40,730	41,670	△940
	その他のサービス活動外収益	1,812,450	4,446,470	△2,634,020
	サービス活動外収益計 (4)	1,853,180	4,488,140	△2,634,960
	費 用			
その他のサービス活動外費用	1,110,192	2,723,904	△1,613,712	
サービス活動外費用計 (5)	1,110,192	2,723,904	△1,613,712	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	742,988	1,764,236	△1,021,248	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	10,899,191	29,734,145	△18,834,954	
特 別 増 減 部	収 益			
	施設整備等補助金収益	2,431,000		2,431,000
	特別収益計 (8)	2,431,000		2,431,000
	費 用			
	固定資産売却損・処分損	7	4,719,293	△4,719,286
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		△3,526,249	3,526,249	
国庫補助金等特別積立金積立額	2,431,000		2,431,000	
特別費用計 (9)	2,431,007	1,193,044	1,237,963	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	△7	△1,193,044	1,193,037	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	10,899,184	28,541,101	△17,641,917	
繰 越 活 動 増 減	前期繰越活動増減差額 (12)	388,920,917	330,379,816	58,541,101
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	399,820,101	358,920,917	40,899,184
	基本金取崩額 (14)			
	その他の積立金取崩額 (15)		30,000,000	△30,000,000
その他の積立金積立額 (16)				
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	399,820,101	388,920,917	10,899,184	